

学会行事

学会奨励賞

第8回（2019年度）日本社会関連会計学会奨励賞は、以下の論文が受賞いたしました。

王睿氏「中国企業の環境情報開示の質に対する制度的要因—制度的同型化を中心に—」第31号所収

＜受賞理由＞王論文は、中国企業の環境情報開示の質の向上という問題提起、その現状分析、分析手法、結論がもっとも明確であり、今後の研究の発展性についても期待が高いことから授賞に至った。ただし、評価の過程においては次のような意見・要望も付された。

- ・結論において、今後の中国政府の規制強化がさらに必要である、としているが、ボラントリーな情報開示への期待はできないのか？ 長期的にみた場合、政府規制に依存するのに限界があるのではないか。
- ・論文作成過程で行われた、企業の環境情報開示行動のスコアリングについて、評価者の属性を示すことは研究自体の正当性を維持するためにも必要ではなかったか。また、スコアリングの結果を69社の社名とともに論文に添付しておけば、再現可能性をある意味で担保できるので、研究資料としての重要性も高まると思う。

以上のような指摘もあったが、公表情報において、数値データの有無や文字数などの量的指標のみでCSRレポートを評価するのではなく、第三者による検証を経た質の高い情報公開をしている企業を高く評価して行こう

とする姿勢自体は高く評価すべきであり、今後の研究方法に対する改善に期待も込めて、今回の授賞とする。

第32回全国大会

2019(平成31)年11月2日(土)～11月3日(日)

会場：文京学院大学

大会準備委員長：依田俊伸（東洋大学）

【第1日：11月2日（土）】

10:40～12:10

理事会（B館811会議室）

11:50～16:45

参加者受付（S館7階704教室前）

12:20～13:00

会員総会（S館7階704教室）

13:10～14:40

統一論題報告：社会関連会計における実証研究の意義

司会：宮崎 修行 氏（国際基督教大学）

13:10～13:40

「資金調達活動に対する株価反応の実証的検証」西村真紀子 氏（人間環境大学）

13:40～14:10

「統合報告をめぐる実証研究の動向と課題」譚鵬氏（中部大学）

14:10～14:40

「社会関連会計における実証研究」大坪史治氏（獨協大学）

14:50～15:50

統一論題討論：社会関連会計における実証研究の意義

座 長：宮崎 修行 氏（国際基督教大学）

- パネラー：譚鵬氏（中部大学）
大坪史治氏（獨協大学）
西村真紀子氏（人間環境大学）
- 16:00～17:00
自由論題報告1：S館7階704教室
司会：石津 寿恵氏（明治大学）
- 16:00～16:30
「内部環境マネジメント・コントロール・システムの構造：キャノンを事例として」
安藤崇氏（千葉商科大学）
- 16:30～17:00
「中手造船企業における2020年Sox規制対応のための組織間管理会計の必要性と課題」
宮地晃輔氏（長崎県立大学）
- 17:00～18:10
自由論題2：S館7階704教室
司会：富増 和彦氏（愛知大学）
- 17:00～17:40
「ソーシャルインパクトボンドの形成過程と今後の可能性－国内外事例及び成果の評価指標を中心に－」酒巻雅純氏（東京証券取引所）
- 17:40～18:10
「長期目標の達成を支援するサステナビリティマネジメントコントロールの展望」
東田明氏（名城大学）
- 18:25～20:25
懇親会（文京学院大学B館1階B's Dining）
- 【第2日：11月3日（日）】
- 10:00～11:30
自由論題1：S館7階703教室
司会：坂上学氏（法政大学）
- 10:00～10:30
「水平的関係における組織間マネジメント」
岡田華奈氏（大阪経済大学）
- 10:30～11:00
「FITによる賦課金の行方」宮武記章氏（大阪経済大学）、吉本圭一郎氏（日本文理大学）
- 11:00～11:30
「ハイアールの付加価値計算書について」
水野一郎氏（関西大学）
- 10:00～11:30
自由論題2：S館7階704教室
司会：向山 敦夫氏（大阪市立大学）
- 10:00～10:30
「社会福祉法人の情報開示分析－岡山県総社市の15法人における財務諸表及び現況報告書を中心に－」谷光透氏（川崎医療福祉大学）
- 10:30～11:00
「戦略的アカウンタビリティの可能性に関する考察－アカウンタビリティを要求することの倫理的側面から－」中澤優介氏（愛知学院大学）
- 11:00～11:30
「フィードフォワード・コントロールにおける説明の概念についての考察」鈴木新（就実大学）
- 11:40～12:10
スタディ・グループ中間報告
研究代表者：中尾悠利子氏（公立鳥取環境大学）
「SDGs時代の社会的評価指標開発への挑戦－AI活用とESG評価の視点より－」

東日本部会

日時：2019年6月29日（土）

会場：国際基督教大学 本部棟2F206号室

準備委員長：宮崎修行（国際基督教大学）

■受付開始（12:00～）

13:00-13:05 開会の挨拶 宮崎修行氏

■第1セッション（13:10-15:00）

司会：大下勇二氏（法政大学）

13:10-13:45

第1報告 寺井理紗氏（有限責任監査法人トーマツESG・統合報告ユニット部）「信任社会における会計：TCFD提言の意義を踏まえて」

13:45-14:20

第2報告 Kentaro Azuma (Ritsumeikan University), Dante Di Gregorio (CSUMB, USA) and Nicolas Dahan (CSUMB, USA) : Motivations for corporate philanthropic disaster response by Japanese firms

14:20-14:55

第3報告 石津寿恵氏（明治大学）「国庫補助金の不正利用と会計処理」

■休憩 15:00-15:15（15分）

■第2セッション（15:15-16:35）

司会：大原昌明氏（北星学園大学）

15:15-15:50

第4報告 越智信仁氏（尚美学園大学）「社会関係資本とWELL-BEING－非対称情報緩和の視点から」

15:50-16:35

第5報告 特別講演 本学会会員 山添真喜子氏（三菱総合研究所）「闘病記 ～ワーキングマザーの白血病発症から退院まで～：白血病発症・その治療内容、大病との

向き合い方、長期入院をどう乗り越えたか」

16:40-16:45 閉会の挨拶

■懇親会（17:00-19:00）アラムナイハウス2F

西日本部会

2019年7月13日（土） 13:45～

場所：大阪市立大学梅田サテライト（大阪駅前第2ビル6階）

■第1報告（13:45-15:15）

中尾悠利子（公立鳥取環境大学）・石野亜耶（広島経済大学）・岡田斎（広島経済大学）・野口豊嗣（神戸大学）「SDGs時代におけるAI支援による非財務情報のテキスト評価指標開発の試み」（本学会スタディ・グループの研究報告）

■休憩 15分

■第2報告（15:30-17:00）

岡照二（関西大学）「生物多様性保全のための管理会計手法の利用可能性」

■懇親会（17:30-19:30）

中華料理「老房（LAO FANG）」（大阪駅前第1ビル12F）